



種を混ぜた土を丸める園児ら

「種ばくだん」作ったよ！

聖アンナ幼稚園でガーデニング体験

八戸学院聖アンナ幼稚園（山西幸子園長）は6日、土と粘土にいろいろな種類の種を混ぜた粘土団子を作って園庭にまく「種ばくだんでガーデニング」を体験し、園児45人が植物や自然への理解を深めた。

植物の種や環境に興味や関心を持ってもらおうと、昨年に引き続き実施。5日の世界環境デーに合わせて行った。

土と粘土と種を混ぜ、堅い団子状にすることで内側に水分が蓄えられ、乾いた土地でも植物が育ちやすくなるという。

子どもたちは、職員から作り方の説明などを受けた後、粉状にした粘土質の土に朝顔やピーマン、スイカなどの種を混ぜ合わせて、丸めたり、固めたりして種ばくだんを作った。その後、成長を願って園庭の土の上に優しく転がしながらまいた。

窪田侑叶（ゆうと）ちゃん（5）は「楽しかった。芽がいっぱい出てきてほしい」、山本海翔（かいと）ちゃん（5）は「作るのは難しかったけど、芽が出るのが楽しみ」と笑顔で話した。（柴田佳弥）